

● 2023年度教学IRセミナー

データリテラシー入門

～ 大学のデータをきちんと読み取るコツ ～



初心者歓迎！

全職員対象

※所属・職層は問いません

本セミナーでは、

すべてのデータ活用の基本である「データを読み取る」ためのポイントを、文部科学省、大学ランキング、東京都立大学などが公開している実際のデータを題材にして実践的に学びます！
初学者にもわかりやすいよう解説しますので、統計などに不慣れな方のご参加も大歓迎です！

データを読み取れるようになると！

業務の目的に沿った効果的なデータ選択ができるようになることで業務の質向上につながります。

例えば…

○ 都立大の退学率1.1%¹や留学生比率5%²って高いの？低いの？

↳ 適切な比較対象と比較できるようになると答えが見えてくる！

*1 2022年度 *2 2023年5月1日時点

○ 委員会などで統計やデータについて説明するのが不安…

↳ データをちゃんと理解することで、今より自信をもって統計やデータを用いることができる！

○ いろいろなグラフがあるけど資料にどれを使えばいいかわからない…

↳ データの可視化について学ぶことで、グラフや表の特性を理解できる！

2024.2.16 Fri.

15:00-17:00

場 所：南大沢キャンパス1号館105室

持ち物：業務端末PC

※演習の際に各自の端末をご利用いただきます

お問合せ：企画広報課 企画・評価係

主 催：東京都立大学教学IR推進室
edir@jmq.tmu.ac.jp

申し込み：ご所属の研修担当者を通じてお申し込みください



講師：松田 岳士 教授
(大学教育センター)



セミナーの目標 - ACHIEVEMENT GOALS -

このセミナーでは、すべてのデータ活用の基本である「データを読み取る」ためのポイントとして、5つの基本知識とそれを活用するためのスキルを習得します。受講することによって、次のような活動で迷ったり、つまづいたりすることが減っていきます。

- ・業務の目的に沿って使えるデータを選択する
- ・データに基づいた説得コミュニケーションを試みる
- ・他大学のデータと本学のデータを比較する

このセミナーでは、講師の話聞くだけではなく、実際にネット上に公開されているデータを使って、それらをどのように読み取ればいいのかを体感してもらいます。データ分析の担当者だけを対象にしているわけではありませんので、少しでもご興味がありましたら気軽に受講してください。

カリキュラム - CURRICULUM -

1. データ自体の代表性

取り扱うデータが全体の特性や傾向を適切に表現しているかは重要な要素です。サンプリングやデータのばらつきなどからデータの持つ代表性について考えていきます。

2. データの偏り

データには様々な要因によって偏りが生じることがあります。ここでは、偏りの原因となる認知バイアス等について理解を深め、より客観的な情報を得る方法を学びます。

3. データの特徴を表す値

データ全体の「平均値」やデータのばらつきを示す「標準偏差」などデータの全体像を把握するためにはいろいろな指標があります。ここでは、これらの指標を適切に選択し、検討することで、データの特徴をイメージする方法を身につけます。

4. データの比較可能性

2種類以上のデータを比較する場合、何をどのように比較するのかを決める必要があります。ここでは、データを比較する場合に確認しておくべきポイントを紹介し、データに差があるのか、データに関連性があるのかなどを確認していきます。

5. 可視化されたデータの注意点

データはグラフや表として可視化されることで、理解しやすくなります。一方で、可視化されたグラフや表が適切かどうかは注意が必要です。ここでは、可視化されたデータを読み取る方法を体験します。

